

道徳授業地区公開講座の公開中止のお知らせ

寒さの厳しい日々ですが保護者の皆様におかれましては御健勝のことと思います。

さて、本校では本年度も道徳授業地区公開講座における道徳授業参観を計画していましたが、緊急事態宣言延長に伴い、2月13日（土）の道徳の授業公開を中止させていただきます。当日は、各学級で公開なしでの「特別の教科 道徳」の授業を実施します。

つきましては、授業参観はございませんが、ぜひ御家庭で道徳の授業等について、話し合っただけいただければと思います。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

記

1 日程 令和3年 2月 13日（土）

2 道徳授業の予定

学年	授業内容「主題名」	「資料名」
1年	友情、信頼「ともだちのことをかんがえて」	「二わのことり」
2年	生命の尊さ「ぼくのいのち、わたしのいのち」	「空色の自転車」
3年	家族愛、家庭生活の充実「家族への思い」	「漢字に思いをこめて」
4年	勤労、公共の精神「みんなのために働く」	「神戸のふっこうは、ぼくらの手で」
5年	規則の尊重「きまりの意義」	「お客様」
6年	生命の尊さ「かけがえのない命」	「おじいちゃんとの約束」

3 資料について

1年生

資料名

「二わのことり」

きれいでごちそうもあるうぐいすの家では音楽会の練習が、山奥で寂しいところにあるやまがらの家では誕生日会が開かれます。どちらに行こうか悩むみそさぎの姿から、心から友達を思うとはどういうことかについて考えます。

2年生

資料名

「空色の自転車」

主人公のかんたは交通事故で大けがを負いますが、周りの人の支えや本人の努力によって回復に向かいます。生きていることのすばらしさ、命が尊く、かけがえのないものであることを実感してほしいです。

3年生

資料名

「漢字に思いをこめて」

家族への思いを1字に込めるとしたら、どの漢字に、どんな気持ちを込めて伝えたいと思うかを問い、書く教材です。
例に挙げられている児童の作品を参考に、同じ年代の子供たちが記した漢字とそこに込めた思いを味わわせたいと考えています。じっくりと読

4年生

資料名

「神戸のふっこうは、
ぼくらの手で」

阪神・淡路大震災のときの避難所で、みんなのために働く大人の人たちやボランティアのお母さんを手伝う小さい女の子の行動を見てきたぼく。今度は自分がみんなのために働こうという気持ちでできることを行動に表す姿が教材に描かれています。

みんなのために働くことの

5年生

資料名

「お客様」

遊園地でショーを見ると、きまりを守らず自分の都合を優先し、係の人に文句を言う人を見かけた「わたし」。係員は「きまりを守らないとほかの人に迷惑になる」と話しますが、観客は自分たちが「お客様」であると言って権利を主張します。それを見た「わたし」は、気持ちが晴れません。

きまりは何のためにあるの

6年生

資料名

「おじいちゃんとの約束」

信二は友達とのゲーム中に、「死ねえ！」と言って盛り上がる。信二の祖父は病床で、自分の命を大切に生きることが大事だと語り、その後亡くなる。テレビで「死ね」という言葉を耳にして怒りを覚えた信二は自分の行動を振り返り、祖父の言葉を思い浮かべ「精一杯生きるよ。」とつぶやく。信二の姿から、命の